

【第388回】

(株) 交通電業社

企業コード：580420278 法人番号：4120001003382
 所在地：大阪府大阪市平野区西脇2-12-26
 TEL：06-6701-0111 設立：昭和24年3月
 代表：相菌 岳生氏 従業員：35名
 事業内容：交通案内表示器の企画・製造・販売
 HP URL：https://www.parasign.co.jp/



鉄道やバスなどの公共交通機関に乗車した際、必ず目にする行き先や運賃などを表示する交通案内表示器。近年はカラフルで動きを付けることも可能な表示器が主流になっている。今回ご紹介する(株)交通電業社は、70年以上にわたり交通案内表示器を供給し、公共交通インフラを支えてきた技術メーカーである。新製品開発にも余念がなく、2021年には「ガラスサイネージ」がお目見えする見通しだ。

アナログからデジタルへ

設立当初はバス用の方向幕巻き取り器の製造を主力としていたが、1970年代から他社に先駆けて電子・コンピュータ技術を導入し自社開発を拡大させたことで、アナログからデジタルへの移行に成功した。ニッチな市場ながら長年の業歴を裏付ける高い技術力を誇り、内製化を徹底。現在は約10名のスタッフが開発に尽力している。

こうした独自の体制によって顧客ニーズに柔軟に対応し、付加価値を高めることで市場を先取りした製品を開発。「Parasign (パラサイン)」ブランドの製品は、行き先などを示すLED式やLCD式表示器にとどまらず、運転台パネル装置や映像記録装置などその種類は多岐に及び、西日本を主とした国内の地下鉄や鉄道、バスのほか、アメリカなど海外でも活躍している。

永続的な事業継続に向けて

「真摯に技術開発に取り組み、お客様のご要望にお応えするために、長年新たな製品を提供し続けてきたわが社の発展を止めてはならない」と力強く語るのは、この春新たに代表に就任した相菌氏である。前代表が高齢に差し掛かり、引退・事業承継を検討するうえで最終的に決断したのが、将来的な株式公開(IPO)やM&Aなど様々な選択肢を検討可能な、現在の経営体制であった。豊富な経歴や実績を持つ相菌氏に白羽の矢が立ったのは自然な流れと言えるが、それ以上に決め手となったのは同氏の技術開発や社会貢献に対する熱い想いである。同氏は大阪大学大学院で基礎工学を学んだ後、大手電機メーカーで長年にわたり、鉄道システムの研究開発に従事してきた経歴を有する。その間、鉄道以外にも自動車カーナビ、



2020年4月27日付で代表取締役役に就任した相菌岳生氏

バス機器、リチウム電池開発など、幅広い分野に携わってきた。技術開発への貪欲な姿勢は企業経営に対しても表れており、英国国立ウェールズ大学の経営学修士(MBA)も取得している。

デジタルのさらにその先へ

相菌代表の下で新たな体制が動き出した現在、さらに積極的な事業拡大にも意欲的だ。2020年5月には、車両用側窓と一体化した『ガラスサイネージ』の交通表示器をリリースした。これは大手ガラスメーカーと共同で開発したもので、新技術を用いて制御基板を小型化し、複層ガラス内のわずか16mmの空間に行先表示器を内包することに成功した製品である。車両用側窓に行き先が浮き出るといふ、世界初(2020年4月30日現在、大手ガラスメーカー調べ)となるこの行き先表示器は、2021年から大手民間鉄道会社の実車両採用が決定している。

また、2020年7月には東京に拠点を開設し、この技術を国内全域、さらには世界に広げるべく準備も整えている。「優れた技術力と長年の開発実績に裏付けられた製品で、世の中に感動を届けたい」と、相菌代表の想いはとどまるところを知らない。新型コロナウイルスで疲弊した日本経済を、高い技術力で打破しようとするこれからの当社の発展に期待したい。

(取材・文/寺本大輔)